

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名【新】小型無人機整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警備部警備第二課 電話番号：058-271-2424(内5761)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,805 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,805	0	0	0	0	0	0	0	4,805
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されていることに加え、全国的にもゲリラ豪雨の発生や線状降水帯の停滞により、甚大な被害をもたらす災害が発生する中、発生時に最重要は多角的な情報収集であり、特に人が立ち入ることができない危険箇所である場合には、なおさら、小型無人機が有効であり、同資機材を整備すること及び同資機材のオペレーターを育成することで、災害警備活動体制の強化を行う。

(2) 事業内容

- ・ 災害現場における救出救助活動に必要な装備資機材の整備
- ・ 災害現場における部隊の対処能力向上のための人材育成

(3) 県負担・補助率の考え方

県内での災害救助活動に関する事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役員費	42	小型無人機賠償責任保険
委託料	538	小型無人機オペレーター養成費
備人購入費	4,225	小型無人機購入費
合計	4,805	

決定額の考え方

過去の活動実績を考慮し、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2) 安らかに暮らせる地域

⑥災害と危機事案に強い岐阜県づくり

(2) 国・他県の状況

- ・ 防災基本計画
- ・ 国土強靱化基本計画

等に基づき、災害に係る危機管理体制を構築するとともに必要な資機材を整備している。

(3) 後年度の財政負担

今後も必要な拠点に配備するとともに、オペレーターの養成費が継続的に必要とされる。

(4) 事業主体及びその妥当性

災害現場における救出救助活動を行う警察活動体制の構築を図る。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 災害現場における救出救助等の災害警備活動を行う広域緊急援助隊、緊急災害警備隊及び機動隊の3部隊、拠点警察署に、令和7年度までに小型無人機を拡充整備するとともに、それに伴うオペレーターの養成を行うことで、それぞれの部隊員及び警察署員が迅速・的確な災害警備活動を展開することが可能な体制を強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

災害発生時の救出救助等の災害警備活動を迅速・的確に行うために必要な装備品に要する事業であり、目標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	ゲリラ豪雨の発生や線状降水帯の停滞により、全国で甚大な被害をもたらす災害の発生が増加する中で、一刻も早い迅速な救出救助活動が求められる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 災害現場における有効性を維持するため、継続して小型無人機の整備等を行うとともに、オペレーターの養成を図る必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降、救出救助活動等をする本部部隊及び拠点警察署に小型無人機を拡充整備し、災害現場における迅速・的確な災害警備活動を展開する体制を構築する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	